

島根大学
教育実践研究

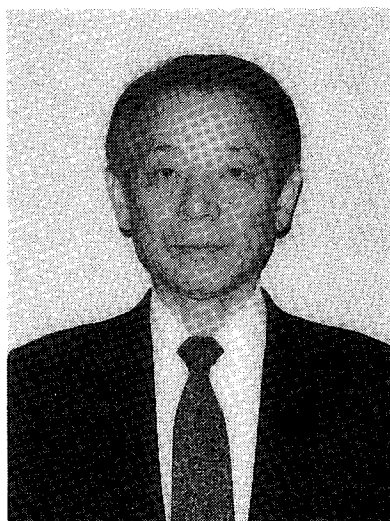
第 6 号

1996

島根大学教育学部
附属教育実践研究指導センター

織奥信男教授退官記念号

織 奥 信 男 教 授



昭和31年 5 月

島根大学教育学部に奉職

昭和55年 4 月

島根大学教育学部教授

昭和59年 4 月～61年 3 月

島根大学教育学部附属小学校長

平成 5 年 4 月～

島根大学教育学部附属教育実践研究指導センター主任研究員

御専攻（体育科教育学・体育経営学）

目 次

思い出	織 奥 信 男	1
加納友市、その生涯と教育論 [2]	有 馬 毅一郎 大 前 裕 子	3
教育実習時に教育実習生が直面する問題の分析	築 道 和 明	23
—— 日記の記述を通して ——		
生涯学習としての音楽教育に関する基礎的研究 I	吉 名 重 美	39
インターネット（電子メール）によるコミュニケーション 活動の実践	渡 部 睦 浩	53
—— グローバル・インターネット・Eメール・プロジェクト in Fuzoku JHS (GIEPF) :一年生の英語学習の実践を 通して ——		
生物教育における細胞分裂教材に関する研究	和 泉 浩 行	63
—— 特に鱗翅目チョウ類を中心にして ——		
子どもが主体的に取り組む算数科学習をめざして	立 石 浩	83
—— オープンエンドの問題を用いて ——		
『子どものころが開く』保健室経営と養護教諭	原 田 睦 子	97
—— ヘルスカウンセリングと保健室登校事例への 取り組みから ——		
<hr/>		
算数科教科書における助数詞について	三 保 忠 夫	1
—— 明治前期（三） ——		

思 い 出

織 奥 信 男

新制大学発足時より教員養成関係の大学、学部等にあつては、教育現場と関係のある教育・研究活動が大切であるといわれてきた。その絆の一つとして昭和54年度に複式教育研究センターが発足し、現職教員の研修、学部学生の教育実践の機能を発揮し大きな役割を果たしてきた。平成2年に教育界の多様なニーズに答えるため、複式教育研究センターは、教育実践研究指導センターに改組された。その機能の特徴として、教育実習の改変に大きくかかわりを持つ機関として対応し、企画、運営、実施など、従来、教務、補導室が中心となってきた領域に大きな責任のある役割を受け持つことになった。更に巾広く教育関連の課題、問題に対処するための教育部門の広がりもあり、(1)教育実践実習研究部門（第一研究部門）、(2)教育情報研究部門（第二研究部門）、(3)教育相談部門（第三研究部門）を設置し、学部教官（付属学校、園教官含む）の協力体制を確立し教育研究に努力するものである。この各部門が相互に協力し、充実した活動が展開されるように環境整備を主たる課題として資料室に転属した2年余り、結極は、迷惑をおかけしただけで定年退官を迎えることになった。山下政俊センター長外、運営委員の先生方に深くお詫び申し上げます。運営委員会の活発な討議と折々の素晴らしい成果は、今後の実践センターの発展充実を方向づけるものと確信している。教材制作室、授業分析室などの整備を試みたが、不十分のまま後任の先生に委ねることになった。学内外の会議で留守が多く、教官、学生の皆さんに不便をおかけしたこともお許しいただきたい。実践センターの活用プランなど調整役の心構えは持っていましたが残念ながら実現できませんでした。島根県生涯スポーツ振興方策答申文作成や、文部大臣認定社会体育指導者養成カリキュラム作成などを理由にしなが責任逃れをする自分にいや気がさす今日此頃です。

資料室の生活は、広く静かな空間、教育学部教官研究室としては最高の場所と思います。退官最後のゆとりある時間を与えていただきながらご迷惑をおかけしたこと心からお詫びをし、実践センターが、教育学部発展の一拠点であるように充実されることを願うものである。

編集後記

島根大学教育学部附属教育実践研究指導センターの『教育実践研究』第6号をお届けします。ご覧のように本号には共同研究1編を含む教育学部教官の研究論文4編に加えて、附属学校から4編の論文をご投稿いただきました。ご執筆いただきました先生方には、心から御礼申し上げます。島根大学教育学部も学部改組により本年4月より再スタートいたします。その中で教育実践研究センターは中核的な役割を担う必要があると思いますが、そのためにも先生方には、引き続き日頃の教育実践・研究の成果を本紀要にご発表いただきますようお願い申し上げます。

また、本号は、教育学部保健体育研究室の織奥信男教授の退官記念号と致しました。織奥教授は、平成5年4月から3年間にわたって教育実践研究指導センターの主任研究員として、同センターの運営、発展にご尽力いただきました。これまでのご努力とご尽力に対して心より感謝致しますとともに、これからの益々のご健康とご活躍をお祈りいたします。

教育学部附属教育実践研究指導センター運営委員会委員

山下 政 俊 (センター長・委員長)

織 奥 信 男 (主任研究員)

権 藤 誠 剛 (主任研究員)

秦 明 徳 (主任研究員)

森 本 直 人 (主任研究員)

大 西 俊 江 (主任研究員)

肥 後 功 一 (主任研究員)

足 立 悦 男 (運営委員会委員)

多々納 道 子 (運営委員会委員)

築 道 和 明 (運営委員会委員)

陶 山 弘 志 (運営委員会委員)

奥 村 泰 磨 (運営委員会委員)

野 津 道 代 (運営委員会委員)

BULLETIN OF
CENTER OF RESEARCH AND TRAINING FOR
EDUCATIONAL PRACTICE
SIMANE UNIVERSITY

No. 6

1996

FACULTY OF EDUCATION SIMANE UNIVERSITY
MATUE 690, JAPAN

島根大学教育実践研究 第6号

発行 1996年3月29日

発行者 島根大学教育学部
附属教育実践研究指導センター

〒690 松江市西川津町1060
TEL (0852) 32-6100

印刷 ㈱報光社
